

原田地区 環境を守る会

市町村名 掛川市

地域		原田地域		代表者名	鈴木正彦	活動期間	平成20～24年度	
協定面積 (h a)	水田	50.00	対象面積 (h a)	水田	50.00	対象資源	数 量	
	畑			畑		農用地	50ha	
	草地			草地		開水路	8.8km	
	計	50.00		計	50.00	パイプライン		
主要作物	水稻		参加団体	農業者 非農業者		ため池		
構成員	農業者	非農業者	計			農道	7.2km	
人 数	24	15	39			事業費(年)	2,200,000	
主な活動内容	(基礎部分) ・遊休農地の発生状況の把握 ・施設の点検 ・共同作業計画の策定 ・草刈り ・配水操作 他		(農地・水向上) ・施設の機能診断 ・診断結果の記録管理 ・年度活動計画 ・きめ細やかな雑草対策 ・ゲート類の保守管理等徹底 他		(農村環境向上) ・景観形成、生活環境保全計画の策定 ・地域住民等との交流活動 ・景観形成のための施設への植栽等 ・施設等の定期的な巡回点検、清掃			
地域の概要	本地区は、掛川市北部の原野谷ダム下流域に位置する正道頭首工の水田受益地である。水田ほ場は、県営ほ場整備事業「原野谷地区」で整備されており、地区完了後、約30年が経過しようとしており、施設の老朽化が進んでいる。							
目指すべき方向	農家の高齢化、担い手不足により、集落内の農家戸数も減っている。また、地域活動など交流活動の参加を推進するとともに、地域の資源である農地や農業用施設を地域の宝として、活動を非農家と共同で開催して次世代に引き継いでいきたい。			開水路の泥上げ				
活動の感想	初年度で、計画策定や活動が思うように取組めなかったが、基礎部分の活動を始め、花の植栽などの景観活動を行い、従来活動の強化により地域住民との交流が図られたことは良かった。							
課題	構成員である自治会と効率よく連携するため、内規などのルールを整備していく。			開水路 破損箇所の改修				
抱負・コメント	地区内の農業者が減少して、農地が守れなくなって来ている今、農用地を活用して、農業の大切さや農地・農業用水の大切さを住民に理解してもらう活動を進めていきたい。							
				花の植栽				